

全難聴女性部だより 第27号

平成24年1月15日発行 発行人：永末淑子 編集：事務局



新年のご挨拶

女性部副部長 伊藤 雅子

新しい年を迎え、より一層よいお年でありますようにお祈り申し上げます。女性部の皆さんのパワーで埼玉大会女性部分科会を盛り上げ成功させましょう。昨年は、東日本大震災や原発事故、また、台風による豪雨被害等、災害の多い1年でした。被災地では年賀状の自粛ムードが広がったようです。親しい人を亡くしたり、避難生活を送ったりする被災者には「新年おめでとう」と年賀状を出す気持ちもなく、受け取りたくもないとの声が聞こえてきます。このような雰囲気では、今までと違った被害者の心情をくんだ「ありがとう」「私たちは元気です」といったお見舞いへの感謝や無事を伝える文面で差し出されたのではないのでしょうか？新聞に賀詞として使える表現や文例が掲載されていたので、被災した友達には励ましや感謝の気持ちの年賀状を考えました。

「旭日興年」(きょくじつこうねん)。新しい復興の年の元旦の初日の出のように明るく前向きに復興への新年の第一歩を歩み出してください。

「健善如是」(けんぜんによぜ)。健康で新年を迎えられた事は何より善き事とお慶び致します。まずは健康に感謝して復興への新年の第一歩を歩み出してください。

「心清事達」(しんせいじたつ)。心を静かに清らかにして物事に当たれば迷うこともなく全ては達成されます。どうかお元気で復興への新年の第一歩を踏み出してください。など、一日も早い復興を願い、励ましの年賀状です。

災害は忘れた頃にやってきます。日頃から防災意識をしっかりと持ち、自分の身は自分で守りましょう。大規模地震発生後、支援物資が届くまで約3日間はかかると言われていています。それまでは自分の力で対応出来る備えが必要です。昨年、川崎市聴覚障害者情報文化センターでは、聴覚障害者の安否確認が円滑に行われるように訓練を実施しました。今年は「総合防災訓練」の時に難聴者協会と要約筆記者協会と合同で聴覚障害者情報文化センターと連携し「安否確認行動訓練」を実施する計画です。そのため、災害時の個人情報開示合意の確認をとっています。皆さんの地域ではいかがでしょうか？

空高く舞い上がる凧に夢をのせて笑顔いっぱいの年になりますよう共に助け合い、一步一步進みましょう。皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

新年のお慶びを申し上げます。

本年も全難聴女性部をよろしく願います

役員一同

～ 23年の心に残った思い出～

役員

・部長:永末淑子

全国女性部の皆様が、お健やかで希望に満ちた年になりますようお祈りいたします。本年の全難聴福祉大会は、12月に埼玉で開催されます。女性部では、楽しいテーマを計画しますので、沢山の方のご参加とバザーでもご協力、ご支援をお願い申し上げます。

さて、今年の忘れられないことは、東日本大震災と福島原発事故という未曾有の災害が起こったことです。しかし、被災者の方々は、絶望の中から立ち上がり力を合わせて復興に向けて、少しずつ歩き始めています。遠い九州から、応援しています。また、プライベートな事ですが、心に残る思い出は、長女が婚約したことです。5月のつる薔薇の咲き乱れるある日、娘と彼はめぐり逢いました。何年もお婿さんを探し求めた私にとっては嬉しい出来事でした。

・副部長:加藤千津子

昨年9月13日(水)、岐阜県の南部に位置する美濃加茂市で2ヶ所のお菓子工場を見学しました。平日にもかかわらず過去最多の29人の参加でした。工場スタッフの説明が聞こえない為、地元、隣町の要約筆記者数名にボランティアでノートテイクをお願いしました。お蔭さまで、大いに盛り上がり楽しい一時を要約筆記者と難聴者が共有できたことは有意義で心に残る行事となりました。今年は、辰年、辰は十二干支の中で唯一空想上の生き物で、万能の化身と言われ大変縁起の良い干支だそうです。また、天空を駆け昇る姿から「昇運」権力の象徴とされるなど数多くの縁起を持つようです。辰年の24年度が縁起よく全国の女性部の皆様にとって素晴らしい1年でありますように。

・事務局長:有延八千代

神戸で宿泊先に向かう小グループで駅に降りた時のことです。仲間の1人が貴重な物が入っているカバンを迂闊にも車中に忘れてしまい、全員がパニックに。どうしたら??とおろおろするばかり。まずは交番へと駆けこみ事情を話して、お巡りさんに各駅に緊急手配をして貰うも、連絡がなく、「もう返ってこないよ」と99%無理と思っていたのです。総会が終わって3日後、帰る車中、部長の携帯へ本人からカバンが戻ってきたと知らせがあった時、溜息が・・・。疲れも3倍も!帰宅後さすがにドリンクを1本飲んだものですが、それにしても望みをかけた1%に世間で欲に負けない善良な市民がいたという事は、サプライズとブラボーとが交差し、名前も言われない見知らぬ人の温かい心に触れて、ほのぼのとした気持ちになりました。この出来事で奉仕する心の大切さを学んだような気がします。神戸震災の影響でしょうか?兵庫県の人々はみんな優しい人間性があるのでは?と思いながら、あの前代未聞の出来事が私の心に残り消えることがありません。

・事務次長:黒瀬智鶴子

振り返ってみるとさまざまな悲しい出来事が走馬灯のように浮かんで忘れることができない1年でした。私にとっての思い出は7月に兵庫県で全難聴女性部長会議と総会が開催できた事です。今までは参加するだけで楽々コースでしたが、担当させていただく事で大変さが良く分かりました。県では女性部が復活してほやほやですが、役員と部員が一丸となって、お迎え協力出来ました事は勉強になり得るものも多かったと思っています。また、有志役員とご一緒に宿泊した六甲山ホテルから眺めた夜景は忘れられない一コマとして残せました。本年こそ災害のない穏やかに過ごせますように。1年間、自分のできる精一杯のことをしながら、悔いの残らないようにしたい。本年も一歩一歩を大切にしたい。!新春を迎え皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

・会計担当:磯島都子

遅い昼食を終え、炬燵で横になって間もなく突然、家が揺れ出した。その後、ガラスケースの人形や物が倒れ落ち慌てて炬燵の中へ……。揺れが収まったころ庭に出て唾然とした。屋根瓦は飛び散り石塀は倒れ、テレビを付けようにも停電情報もない中、不安な一昼夜を過ごしました。その後に起きたスーパーやガソリン不足等の混乱等……。ガソリンは義母の通院送迎用にと身動きもせず質素に過ごした2週間余……。これが2011年3月11日以降に起きた我が家の大震災の出来事です。「一難去って又、一難」の災害年でしたが、殺伐とした社会にあって“頑張ろう日本”を合言葉に日本が一丸となった様子は全世界に報じられ、暖かい視線も寄せられました。今年はどうのような年になるか予想もつきませんが女性部役員の一員として“絆”を大切に1つ1つの活動に全魂を込めて取り組んでいきたいと思ひます。皆さま本年もよろしくお祈りします。

・広報担当:鈴木亜妃子

昨年は、東日本大震災が一番ショックでしたが、大黒柱である当協会の大先輩、内野恵子さんが亡くなり、今でも信じられない気持ちです。教わって欲しいことがたくさんあり、誠に残念です。いろいろ大変なことがありましたが、心機一転、今年も頑張ってお祈りします。皆さま方のご支援を賜りたく、何卒よろしくお祈り致します。



・広報次担当:畑尾 純子

昨年は未曾有の東日本大震災があり、その後に続く放射能汚染がありました。これから寒さ厳しい冬になる被災地の方々、まだまだ不自由な生活が続いておられるのでは？自分に何かできることはないかと気になります。そして、悲しい別れがありました。全難聴女性部役員の掛橋さんと埼玉県前女性部長の内野恵子さんとの別れです。掛橋さんはお若い方で、これから活躍を期待されていたのに残念です。内野さんは埼玉県女性部長の時、私が副部長で6年間コンビで活動しました。内野さんはカリスマ部長で大勢の人に慕われて私も教えて貰うことがたくさんあり、大会や旅行と一緒にあちこち参加したものです。寂しいですね、お二人のご冥福を心からお祈りいたします。

・会計監査役:松島みどり

3月11日に起きた東日本大震災は、未曾有の出来事として、忘れられない日になってしまいました。さらに、原発事故は関東在住の私達の生活にも多少の影響を及ぼしています。今年こそ明るいニュースがたくさん聞かれますように……。私個人としては、一昨夏の白馬岳に続いて、昨夏は槍ヶ岳登頂を果たせた事が嬉しい思い出になりました。山頂に立った時の達成感は大いのものであり、最後まで諦めなかったことで自信がついたように思ひます。会員の皆さまのご健康とご多幸をお祈りします。

・会計監査役:塚本 茂子

新しい年を迎えました。昨年は全難聴女性部に関係された方々を失い、中には面識のない方もおりましたが、とても寂しく感じました。この年も役員の方々の絆を大切にしながら、全難聴女性部の活動に協力していきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお祈り致します。昨年の出来事で、私の中で大きなウェイトを占めているのは東日本大震災です。足裏で感じた地中のうねり、高層

ビルの揺れ、テレビに映し出された津波の映像など、多くの犠牲者を出したこの震災を次の世代に語り継がなければと思いました。茨城も被災しともすると気持ちが沈みがちになりましたが各地の仲間からの気遣いは、どんなに励みになったか分かりません。点と点が結んで線となり、さらにそれが広がるように、私達もお互いに手を携えあって進んで行けたら・・・と思います。

・相談役:須山 優江

昨年は役員交代で永末部長とバトンタッチし、肩の荷を下ろした途端に、病気になり入院生活を2ヶ月もしてしまいました。(やれやれです)退院してから1ヶ月後に全難聴福祉大会(青森)でしたが、全国の女性部員にお会いし元気を頂いたのが一番の快復薬となりました。そして、日々を健康で過ごせることが何よりの幸せだと痛感しました。皆様もお体にはくれぐれもお気を付けて生活してくださいね。私も今後は、相談役として女性部活動を見守り応援していくつもりです。皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

県部長

・札幌市:橋本 順子

7月に神戸での県部長会議に初めて参加しましたが、経験する事がない初体験をさせて頂き、役員の皆様が苦勞されながら、頑張っておられることで地方での活動を安心して行うことができるという事は素晴らしいものと感じました。地元の協会においても1人でも多くの方が部長となって色々と体験や勉強されながら女性部を活性化させていただけるようにと思いつつ、神戸初参加は私にとって楽しく忘れることが出来ない心の思い出となりました。

・新潟県:大西 邦子

昨年は多くの災難に見舞われました。新潟県は2004年にマグニチュード6・8、震度7の中越地震がありましたが、早いものであれから7年経ち長岡市山古志地域は美しい自然を取り戻しましたのです。その山古志へ、昨年9月に、復興の応援もかねて地元の長岡支部と女性部合同で訪れました。復興のプロジェクトの一環として運営しているマイクロバスを貸切り、回りました。立派に整備された山古志闘牛場、養鯉場、美しい風景を誇る棚田を見学して、その復興ぶりに感動いたしました。東日本大震災で避難されている方々も復興した姿に希望を感じられるのではないのでしょうか?人間の強さと大切さに気付かされた心に残る旅行でした。今年もみんな元気に楽しい女性部でありたいと願っています。

・茨城県:赤塚千鶴子

地震の影響で建物が壊れて使用できなくなり、真壁の街を散策しながら昔のひな人形に逢いに行こうと、つくば実験植物園見学。また、希望の多かったアサヒビール工場見学もタワーが心配だから、と予定が中止になってしまいました。会議の場所も思うように借りられず本当につまずきながらのスタートでした。でも、茨城県中途失聴・難聴者協会設立25周年の節目に当たり、記念大会がささやかながら10月に行われたことが私の心に強く残った思い出となりました。現在の会員の中に設立当初からの永年会員が数人いて、その方たちの「25年といえば長かったがあっという間といえばそのようにも言える。私の今までの人生はまさに協会と共にでした。」という言葉聞き、



今あるのもこの人たちのお陰と改めてありがたく感じました。この記念すべき年に一緒に参加できたことが良かったです。

・栃木県:矢野美津子

昨年3月11日に東北地方太平洋沖地震(東北大震災)がおきて、栃木も少なからず被害がありました。我が家はどうか大丈夫でしたが、石垣、お墓に被害が!・・・しかし、他の被災地の方と比べたら氷山の一角にすぎません。また、福島原発事故では風評被害も出て、土壌、作物他に影響し、食卓までも心配されました。そんな状況の中、笑顔を取り戻そうと女性部活動でもできる範囲で行い微力ながら皆で被災地への募金活動も。皆の真剣な心、思いやりに理解してくれる友がいる!分かち合える友がいる!素敵な宝物です。大切にしたいです。未熟な私ですが今年もよろしくお願ひいたします。

・東京都:森 朱実

昨年は、東日本震災で想定外の大地震・大津波そして原発事故が起き、文明は幾ら発展しても人間の力では自然の驚異に為す、すべがない自然災害の恐ろしさを改めて認識させられた一年でした。その影響で全難聴女性部の行事も中止になりましたが、全難聴主催青森福祉大会には、初めて参加をして女性部担当バザーの協力をさせていただき、バザーも大盛況に終え役員の皆さまと喜びを分かち合えたことが思い出に残りました。本年も笑顔を忘れず、健康に留意しながら人材の花を咲かせ、会員の皆さまと共に前進していきたいと思ひます。ご支援ご協力宜しくお願ひ致します。

・横浜市:飯島 サダ

昨年は横浜女性部長となり、無我夢中で、月日が立ち、反省ばかりが浮かびます。副部長の時と違い責任の重さを感じると同時に部長とは忍耐、体力、努力かと痛感しています。一生懸命やっているつもりでも、ついつい、忙しさに紛れ思いやりに欠けてしまう点が多く反省しきりでした。今年も部員の皆さんに助けて頂きながら女性部を盛り立てていきたいと思ひます。部長会議で遠方に行くには大変ですが楽しい事もありました。県部長、窓口担当の皆さんと顔見知りになり、次の機会に又、お会い出来るのかと思ひると嬉しくなり来てよかったなあとと思ひます。7月兵庫県で行われた全国県女性部長会議に部長として初めて出席し、また、10月には福祉大会 in 青森に参加して本当にいい思い出となりこれからも頑張ろうという気持ちになりました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

・滋賀県:服部 邦子

今年、滋賀県中途失聴・難聴者協会も30周年を、女性部も25周年を迎えます。女性会員も増えて活動内容も盛んになりました。昨年は思いがけない東日本大震災が起きた為、日本中が一気に自粛ムードの中で如何に絆の大切さを強く求められました。同じく女性部にも人との繋がりを大切に例年通りに毎月1回例会を行い、1人でも多く参加して頂けますように女性部健在であることを切に願ひたいものです。



・奈良県:藤岡 央子

今年の1番の出来事は悲しい思い出です。!長年、奈良県の会長として活躍された上田牧子さんが、千の風になってしまわれたことです。5月の近畿ブロック女性部会議に顔を出されてその後、

すぐ入院され、3ヶ月後、逝ってしまわれました。葬儀はキリスト教で、上田さんがクリスチャンということも、初めて知りました。牧師さんのお話は全てスクリーンに投影されて、聞こえぬ私達にも上田さんのメッセージは伝わっていました。長い間、ありがとう!貴女が遺してくださったもの、次は私たちが伝えていきたいと思います。

・大阪府:橋高 恵子

昨年は東日本大震災をはじめ、豪雨など自然災害の多い年でした。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。本当の豊かさや、人のつながり、支えあいの大切さを改めて思いました。大変な年でしたが、私のホットな思い出はろうけつ染の作品が市長賞をいただいたことです。難聴に関係ない事に挑戦したいと、5年前に始めました。最初に自分の失聴のこと、コミュニケーションの取り方などを話したところ、先生が理解してくださって、筆談で指導していただき、とても助かっています。制作に半年かかったのですが、思いがけず、嬉しい賞でした。失聴の不便さに負けずに、道を切り開いていきたい、何事も、チャレンジ!嬉しい思い出のできた年でした。

・大阪市:高田 郁代

何といても、3月11日に起こった東日本大震災と秋の紀伊半島の大水害、自然の恐ろしさをさまざまと見せつけると共に、日常が日常であることの有り難さを身にしみて感じさせられました。私個人のことでは39回目の結婚記念日に4人目の孫が誕生したことが一番うれしい出来事でした。夏の終わりから、認知症で要介護4の89歳の母の世話が始まりました。ケアマネジャーや夫のおかげもあって、何とか無事に面倒を見る事が出来ています。母にとっては平穏な日が続くことを願っています。4月から大阪市難協女性部の部長になったことも私にとっては忘れられないことです。今年は出来るだけ迷惑をかけることのないように頑張っていきたいと思っています。

・和歌山県:峯 千津子

昨年、3月に和歌山県難聴者協会は創立30周年を迎え、会員一同と大勢の方々が祝ってください、今後の期待が持たれる雰囲気良かったです。そして、同じ月に想定外の東日本大震災が起こり、また、7月には和歌山県南部も大雨による山崩れで被害も大きく、胸中の辛い年でした。10月に青森で開かれた難聴者福祉大会女性部分科会へ初めての参加で楽しみにしていましたが、当日の朝、義母の訃報を受け、夢に見た青森参加を止む無く断念し、この2つの出来事が心残に残っています。今年は被害の無い良き年でありますように。



・兵庫県:庄司 美絵

女性部が復活して、2年目になりました。役員や会員の皆さんは仲が良く、アットホームな雰囲気です。例会ではビール工場見学や浴衣着付け教室などを開催しました。年齢が幅広く、コミュニケーションも様々で大変だったけれど、楽しかった思い出。兵庫県では4年ぶりに、近畿ブロック女性一泊交流会を担当させていただく事になりました。テーマや講演内容も大筋決まりましたので、6月開催に向けて、ブロック役員と皆さまのご協力を得まして、成功裏で飾れるよう頑張っていきたいと思っています。

・島根県:福田美和子

女性部の活動で、携帯用ホワイトボード作りを行ったことが思い出に残っています。型取り、布

裁断、ボードに張り付けなどを行い、私は初めての経験でしたが、良いものが出来、今でも利用しています。それにあって、NHKから取材に来てインタビュー、女性部員達のボード作りの様子を撮ったりしていただきました。1時間後お昼に放映するとのことだったので、ドキドキと楽しみにしていました。お昼になり、放送を見て、中々このような機会はめったにないことだと思いました。私達の活動する様子を一般の方にも知って貰い難聴者への理解が深まることを願っています。
・千葉県:近藤 真由(窓口)

何ととっても、この一年の私の出来事、一番は千葉県での理事就任です。最初に思った事、正直に言って私に務まるかという事でした。何とか夢中の半年です。今年の3月忘れてくても忘れられない未曾有の大震災のあの日。何度か地震の体験があったが、今までに無い恐ろしさを感じました。あの日は、仲間と一緒にいたから安心でしたが、もし、1人だったらどうなったんだろうと考えていました。大震災の後、防災関係、行事など参加し確認しています。節電の夏、我が家では冷房を出来るだけ短時間の使用に努めましたが、冷蔵庫を買い替えたお陰で、7～9月前年比20%の節電が出来ました。しかし、今冬は寒がりの私達少し自信がありません。11月女性部・高年部合同例会で開催された古典講座「方丈記」。今年ぴったりのテーマでもありました。3月の大震災と似ている所があり、参加者達が熱心に勉強されていたので、より良い講座になったと思います。今年はずいぶん悲しい年でしたが来年は“なでしこ”の様な明るい話題を期待します。

～ 青森大会第3分科会参加感想 ～

やってきました～はるばると～!京都から片道14時間の夜行列車の旅は体験してみたかった旅でした。停車駅に停まるたびに、ガタゴト揺り起こされて寝られない、体験してみたかったのは寝不足じゃないんだけど～。寒さを感じて目覚めると、朝もやの中になにやら赤い実がたわわに実っている・・・なんとりんごが鈴なりに道端に実っている!ほんとに道から手を伸ばせばすぐに取りそう!青森に来たんだな一ついでにりんご採りたいな!朝の8時半ごろ青森に着き、その足で第3分科会の会場へ。女性部スタッフと合流しようやく一息つく。第3分科会は「笑顔で暮らそう!女性力UP講座」資生堂東北支社美容部長、松田佳重子氏を講師に迎え、化粧による心理的効果を利用した化粧療法の話の話を聞きました。また、東日本大震災に対して資生堂がどんな支援活動をしているのかという話も伺うことが出来ました。義捐金活動はもとより、8月末までで避難所575ヶ所で、手や顔のマッサージやメイクアップのボランティア活動をされているそうです。「お化粧をしてもらい元気になれた」と被災者からの声に、お化粧はただ綺麗になるだけではなく、心まで豊かにしてくれるもの、「心の復興」も大切と話されました。休憩をはさんで、メイクアップ体験をグループに分かれてしました。テーブルごとに一人アシスタントの美容部員さんが付いて、笑顔でゆっくりと指導してくださり、楽しい時間を過ごしました。参加された被災者の「津波でオシャレすることを忘れていたが、今日は楽しかった。お化粧する大切さを気付かせてもらいました」との感想に、お化粧をしようと思うことが生きる意欲になると、実感しました。夜の交流会は各地から参加された方々とおしゃべりできて楽しみました。今回女性部のスタッフとして、分科会発表の纏め役やバザ



一の手伝いが出来た事は良い経験でした。全国から同障者と親睦を深めることが出来ました。来年は12月1～3日まで埼玉県で開催されます。皆で参加して女性部の魅力をUPしましょう。

(文責：奈良県 藤岡 央子)

～ 県難聴の「笑いヨガ」に参加して～

12月3日(土)美濃加茂市で県難聴の「笑いヨガ」に参加しました。「笑いヨガ」を教えてください、午後は交流会でした。「笑いヨガ」は私は初めて聞くものでしたが、結構以前から発案されていて、今では60ヶ国に広がっているそうです。5分間の大笑いは15分間のボート漕ぎマシン運動に指摘するほどの運動量だということには驚きです。私自身振り返ってみて、日常生活の中で大笑いするようなことは殆ど無くなっているような気がします。講師が「とにかく今日は色々細かい理屈は置いて、運動だと思って笑ってください」と言われるので、みんな、一生懸命笑いました。笑うことによる生理的、生化学的変化には、それが作り笑いであっても自然な笑いであっても変わらないそうです。私は理屈っぽい性格なので、どうしてもなんだかんだと考えてしまうのですが、講師の指導に従って大笑いしているうちに、本当に笑えるようになった気がします。「笑いヨガ」は「笑う」とことと「ヨガの呼吸法」をうまく取り入れた健康法です。それぞれが家に帰って自分でやれると良いとは思いますが、これを一人でやっていたら、気が狂ったかと思われてしまいますね。何人かで集まってやれると効果があるかと思います。



(文責：岐阜県 小森寿美子)

事務局便り

第16回全国難聴者福祉大会 in 青森大会におけるバザー販売報告(協力金等含)

提供団体：札幌市：茨城県：川崎市：横浜市：東京都：岐阜県：滋賀県：大阪市

大阪府：山口県：福岡市：愛知県：栃木県：埼玉県：兵庫県：奈良県：島根県

個人等：永末淑子：黒瀬智鶴子：松島みどり：鈴木亜妃子：磯島都子：小川由恵

藤田美佐子：(匿名1名) 収益金：101,820円

全国地域団体の皆様、心の籠ったバザー提供をありがとうございました。

24年度ブロックの集い開催予定団体は、関東、近畿、中国、東海です。

24年度の全国福祉大会開催地は埼玉県となりました。(12月1日～3日)

女性部分科会のテーマは「笑いヨガ」を予定しております。お楽しみに!!

24年度女性部総会開催地は岐阜県で7月に開きます。

お悔み：8月に前役員の内野恵子さんが逝去・11月に役員の事務次長掛橋富士子さんが急逝されました。お二人ともまだ若い人でした。残念と共に心からお悔やみ申し上げます。



編集あとがき

今回は心に残った思い出を取り上げてみましたが、大半が大震災のことでした。生涯忘れ得ぬ災害は数年たっても消えることはないでしょう。日本人の団結力、忍耐、絆、等で乗り切り立ちあがると信じています。“がんばれ日本”の言葉は永遠に。